

拠点

拠点6 大田区立こども発達センター（わかばの家）

1. 運営概況（運営方針・目標の実施状況）

大田区立こども発達センターわかばの家は、心身の発達に遅れや偏り、またその疑いのある就学前の乳幼児に対し、基本的な自立や社会性を育むことを目的とし、早期に発達に必要な支援を行う。法人のミッションである『誰もが自己実現し得る共生社会の実現』を目指し、大田区の定める運営方針により「乳幼児への支援」「保護者との連携・支援」「関係機関との連携」「地域と触れ合う施設づくり」を行った。

支援においては、本法人の支援理念『受容的交流の立場にたった利用者支援』を根幹とし、「子どもが家族をはじめとする周囲の人と安心・安定した人間関係を形成することと、その人間関係を通して子ども自身の自発性や主体性を育成・強化し、社会性を促していくこと」、「家族が安定し、子どもを理解し自信を持って子育てに当たることができるよう支援すること」、「地域の支援機関との連携・協力を積極的に図るとともに、乳幼児期の療育意義の啓発・普及、地域における支援の向上に寄与し、本人や家族の地域での暮らしを支えていくこと」、「地域での切れ目のない支援の実現に寄与していくこと」を目指して、実践を行った。

事業運営においては、法人の経営方針である『明確なコーポレートガバナンスによる持続可能な法人経営』に基づき、委託事業者として求められる遵守事項の徹底を図る他、社会福祉法、児童福祉法、大田区立心身障害児通所施設条例その他諸法令の定めるところに従い、利用者支援や内部統制についての自己点検の実施し、職員の労働環境や業務の改善に留意した運営に努めた。その結果、利用者調査等における満足度も高く、事業運営において一定の評価を得られているが、これまで増加するニーズに対応して事業の拡充とともに様々な運営努力を重ねてきている中で、既に業務量が許容範囲を超えた状況となっている。そのような現状を見直し今後の方向性を検討すべく、年度後半から、法人の経営層（理事長）を交え、管理者、指導監督層（指導主任、主任）の協働による「中期計画策定プロジェクト」を開始した。次年度も継続し、大田区とのやり取りにつなげていく必要がある。

新型コロナウイルスへの対応については、本年度も「夏まつり」や単独通所の外部施設を利用した行事等の開催を見合わせ、各事業とも可能な限り基本的な感染防止対策に留意した運営に努めた。年間を通して、当施設内での感染の広がりは見られなかったものの、一部利用者や職員の感染が発生し、併せて家族や子どもの所属機関等周辺環境の感染拡大の影響により、一時期出勤できない職員が複数重なるなど、通常運営に支障をきたす状況に陥ることもあった。その都度大田区の担当者と連絡を取りながら調整を行い、保護者への情報発信をなるべく迅速に行うとともに、感染拡大防止と安全な運営を心がけた。

事業における本年度の主な取り組みと実施状況及び結果は以下のとおりである。

1) 運営体制の整備と支援の質の向上

昨年度開設された「西六郷分室」を含めた4施設体制により、センターとしての機能の充実と支援の質の確保、そのための効率的な運営を目指し、さらにわかばの家全体の機能の再配置をすすめた。

① 相談支援体制の集約と一括管理

初回相談の待機期間の減少とニーズに応じた柔軟な相談支援の提供を可能とするために、昨年まで、地域割りによって「わかばの家（本館）」と「分館」にあった、相談支援機能（受付、初回アセスメント、再来相談等への対応）を本館に集約し、一括管理する体制とした。

「ふれあいはすぬま分室」は、引き続き、初回アセスメントを行う専用施設とした。

→それによって、全体のケースの把握と管理がしやすくなったが、職員の欠員状況が続いたことに加え、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるキャンセル等が重なったこともあり、計画通りの事業実施がかなわず、待機期間の減少には至らなかった。利用者の不安が募るこ

とがないよう、電話相談等のフォローを丁寧に行った。

② 効率的な療育体制の整備

- ・「分館」と「西六郷分室」を療育に特化した施設とし、特に西六郷分室は、作業療法や言語聴覚の療育を集中的に行なえるようにしたことで、ある程度ニーズにかなった療育を効率よく提供する体制が整った。
- ・年度の前半で、全体の療育の定数枠がほぼ埋まってしまうという異例の事態となり、その後の対応に苦慮した。→各グループの利用状況を見ながら弾力的な受け入れを行った。
- ・コロナの感染拡大防止対策として、親子グループ等の集団活動は、なるべく密集を避けるために、年間を通して時間入れ替えでの2部制にして実施した。

③ 利用者のニーズ把握と支援の質の向上

- ・各事業とも行事や催しの後、また年度終了時に利用者アンケートを実施した。児童発達支援事業（「単独通所」と「親子通所」）においては、「自己評価」の実施に加え、本年度は「第三者評価」を受審した。
- 利用者調査については、総じて満足度の高さが伺えたが、事業所としての強みと課題を整理し、今後の事業運営の検討につなげていきたい。個別の意見や要望については、必要に応じて個別に説明を行った。

2) 保護者との連携、支援の充実

- ・保護者に理解しやすい情報提供の一環として、聴覚障害、外国人保護者等に対し、必要に応じて、通訳の手配、翻訳資料の配布等積極的に行なった。
- ・コロナ禍における感染防止対策に努めながら、各事業とも保護者が子どもの発達や子育てへの理解を深めるための懇談会や勉強会等を実施した。「単独通所」「親子通所」は各専門職による勉強会、療育場面のビデオ視聴、「親子サークル」は専門職によるお話し会、「外来訓練」は年長児保護者を対象に「就学についてのお話し会」を実施した。
- ・「外来訓練」利用の保護者向けに、保護者自身の気づきやストレス軽減を目的としたグループワーク「子育てホッと講座」を企画実施した（各所で2回セット）
- ・「外来訓練」において、子どもの療育回数を調整し、ケース検討による療育目標確認と保護者面談を組み込むことにより、保護者との情報共有、共通理解が進んだ。
- ・子どもの発達支援にとどまらず、保護者自身への支援や養育環境を整えるためのケースワークが必要なケースに対して、各事業とも同施設内の「相談支援事業所」との協力体制の下、支援に当たった。また要保護児童対策ケースに対し、積極的に関係機関（子ども家庭支援センター、児童相談所、他事業所等）に働きかけ、迅速に連携、協力体制をとるよう努めた。

3) 就学後の支援への引継ぎ

区内での切れ目のない支援に向けて、「大田区立障がい者総合サポートセンターB棟」（学齢期の発達障害、重症心身障害児の支援）との定例会議（隔月）を行い、相談支援事業所や外来訓練利用児の移行、引継ぎについて検討をすすめた。

4) 地域支援事業の強化

- ・『わかばの家子ども発達支援講演会』…コロナ禍において、本年度も集合型研修の開催が困難となったことで、初の試みとしてオンラインにて開催した（発達支援にかかわる「職員向けの講演会」2回、啓発のための「区民向けの講演会」1回）。当施設の電波環境等の問題により、区の協力の元サポートセンターの施設から配信を行った。
→参加者からは、参加のしやすさ等好評の声が多かったが、今後の実施に向けては配信の環境や設備等の課題が残る。
- ・「保育園・幼稚園への訪問支援」については、本年度も資料に基づいた事前の聞き取りを行うことで、滞在時間を短縮するなどの工夫をしながら可能な範囲で実施した。
また緊急事態宣言や蔓延防止の発令中は、電話による「機関相談」に振り替えて行った。
→コロナの感染状況を見ながら限られた範囲での実施となり、例年より対応件数は少なかったが、多様な子どもの受け入れを行っている保育現場において、訪問支援へ期待の高さが伺えた。（訪問支援 37、園（保育園 31、幼稚園 3）、機関相談 15園（保育園13、幼稚園2））
- ・「外来訓練」利用児の所属園との連携については、昨年に引き続き、電話や来所による情報

共有、相談助言を積極的に行なった。

5) 人材育成と研修の計画

- ・前年度ストレスチェックの分析結果をもとに、新人職員に対してのフォローアップ体制強化に取り組んだ。「メンター制」による日常的なフォロー体制を明確にするるとともに、コミュニケーションをを深めることを目的として、主任会企画による「フォローアップ研修」を実施した。→お互いの人となりを知り、交流する機会として有効であった。
- ・法人のキャリアパス制度に基づき、職員の育成及びキャリア形成を目的として、育成担当により育成面談を実施、個別育成計画の作成を行ったが、形だけの実施にとどまるものも多かった。実効性のある運用に向けて取り組みが次年度に向けての課題となる。

6) 業務の整理と職場環境の改善

- ・個人情報を中心とした情報管理、区立施設としての各書類の発行等の業務が増大し、手順が複雑化、煩雑化している状況に対して、昨年度に引き続き、各事業ごとに業務フローの見直し、課題の抽出等を行った。それによって、書式の統一、手順の簡略化、可視化等、部分的に改善が進んだ。
- ・独自の業務アプリの導入により、省力化、効率化につながったが、一部の職員の属人的体制に依っているため、今後、業者への移行等、適正な体制に向けての検討、取り組みが急がれる。
- ・法人の取り組みに合わせて、職員給与の処遇改善を実施した。

7) 防災体制の整備と実効性のある訓練の実施

- ・災害時に利用者、職員の命を守るための的確な行動が可能となるような実効性のある訓練として、主に初動体制について職員への周知徹底を図り、情報伝達や連絡、安全確認、避難誘導、安否確認等、繰り返し訓練を行うようにした。(月1回程度)
- ・事業継続計画(BCP)の見直しと災害発生時の福祉避難所の開設については、取り組めなかったため、次年度の課題とする。

8) 大田区との関係

- ・委託事業者として、所管の「大田区立障がい者総合サポートセンター」と月1回の定例会において、運営事項についての情報共有と協議検討を行うとともに、その都度、緊密に連携を取りながら事業運営を行った。
- ・大田区地域自立支援協議会(相談支援部会)、児童発達支援ネットワーク会議、相談支援連絡会、要保護児童対策協議会、大田区障害福祉施設施設長会等、積極的に参加し、大田区内の関係機関、事業所と連携を図った。
- ・「ファミリーサポートおおた」の提供会員養成講座、「相談支援従事者研修」等、大田区が関与する地域での人材育成に積極的に協力した。

9) 法人の執行本部の下、他拠点・事業所との連絡を密にし、経営会議、園長会の他、各種係・委員会活動等を通じて、情報の共有、事業の協力を積極的に推進 →コロナ禍により、他拠点・他事業所との直接の行き来が制限され、積極的な交流や協力の機会が持ちにくかったが、オンラインでの会議やサイボーズでのネットワークにより、必要な情報共有等を行うことができた。

2. 月間・年間予定

※年間行事等実施計画を添付

3. 職員体制

※組織図を添付

4. 職員研修

1) 事業所内研修の実施

- ・各事業ごとに、定期的な打ち合わせを行い、情報共有を図るとともに、必要に応じてスーパービジョンを行った。
- ・経験豊富な非常勤専門職や嘱託コントラクターによる、研修会を実施した。

期日	研修名	開催場所・方法	参加者
4/2	年度当初に当たっての研修	わかばの家	全職員
5/31	記録をつけるときこころがけたいこと / 横田心理	わかばの家	①相談・外来職員 ②単独通所、親子通所職員
6/18、 7/16	ケーススタディ / 松本 ST	わかばの家	単独通所職員
7/17	新人研修フォローアップ研修	わかばの家	新人職員、施設長、主幹、主任
7/30	「いっしょに『なぜ?』を考える」 / 松本 ST	わかばの家	相談・外来・地域支援職員
9/29	「いっしょに『なぜ?』を考える」 Part II / 松本 ST	わかばの家	相談・外来・地域支援職員
9/30	グループワーク / 藤井心理	分館	分館職員
10/8	ケーススタディ / 松本 ST	わかばの家	単独通所職員
10/18	グループワーク / 藤井心理	西六郷分室	西六郷職員
11/19	子ども発達支援講演会 「発達障害の基礎知識」 / 結城心理 「多様な子どもの理解と支援」/ 松本 ST	オンライン	施設長、主幹、事務主任、主任 1、副主任 2、支援員 4
11/26	子ども発達支援講演会 「発達障害 基本のき」 / 澤谷医師 (児童精神科)	オンライン	施設長、主幹、事務主任、主任 2、支援員 2
12/10	ケーススタディ / 松本 ST	わかばの家	施設長、主任 1 副主任 1、支援員 7
12/1	福祉の森システム研修	わかばの家	(非) 事務員 1
1/17	こども発達支援講演会 「叱らずにすむ子育てのヒント」 / 高山恵子氏	オンライン	施設長、主幹、事務主任、主任 2、支援員 5

2) 法人内研修及び法人が主催・実施する研修

期日	研修名	開催場所	
6月～	こぐま学園のケース担当 ※基本的に月 1 回の設定だが、コロナ禍により変更、中止になることが多かった。	子どもの生活研究所	支援員 2
6/27	キャリアパス運用委員会研修	子研	主任 1
10/19	TOSCA 相談研修Ⅲ 発達障害児とその家族への支援を考える	オンライン	主任 1
11/9～14	アトリエ・アウトス展	世田谷美術館	支援員 2
12/18	児童好事例発表会	子どもの生活研究所 / オンライン	支援員 3

2/24	2021年度全体職員研修（事前研修）	わかばの家 動画視聴	全常勤職員・非常勤職員一部
3/12	清瀬市発達支援交流センター 「とことこ」講座 /藤岡隆志氏	オンライン	支援員2名
3	2021年度 全体職員研修	わかばの家 オンライン	常勤職員・非常勤職員一部
3/19	新人研修	オンライン	施設長、主幹、主任2 看護師1、新人3

3) 外部研修への参加

- ・コロナ禍において、オンライン形式の研修が多く開催されるようになり、必要な外部研修へ積極的に参加した。

期日	研修名	開催場所	参加者
4/11～ 4/12	防火・防災管理新規講習	東京消防庁消防技術 試験講習場	事務員1
6/10	法的視点からみる子どもの権利擁護 について～居場所のない子どもたち～	子ども家庭支援セン ター3階会議室	主任1
6/15	福祉避難所開設学習会	サポートセンター	事務員1
6/16	ダウン症の最新の医療・教育・療育	としま区民センター 6階小ホール	支援員1
6/21	令和3年度東京都相談支援従事者現 認研修	オンライン	主任1
6/16～ 6/22	令和3年度東京都相談支援従事者現 認研修	オンライン	主任1
7/5	令和3年度東京都相談支援従事者現 認研修	ルミエール府中市民 会館	主任2
7/21	子どものてんかんセミナー	オンライン	副主任1
7/21	令和3年度東京都相談支援従事者現 認研修・実習	サポートセンター	主任1
7/25	2021年度てんかん講座「薬が効きに くいてんかん」	オンライン	支援員1
7/25～ 7/31	第44回てんかん基礎講座（8講座）	オンライン	副主任2、看護 師1、支援員2
7/27	相談支援従事者現認研修		相談員1
7/28	東京都相談支援従事者現任研修・実 習	さぼーとぴあ	主任1
8/6	相談支援現任研修実習	サポートセンターA 棟	相談員1

8/23～ 8/24	令和3年度東京都相談支援従事者現 認研修	オンライン	主任1
9/26	2021年度てんかん講座「子どものて んかん 治療と対応」	オンライン	副主任1、看護 師1
10/9	医師が教える！保育園・こども園に おける新型コロナウイルス感染症対 策	オンライン	看護師1
10/16	中部ジャワ州スラカルタ市「自閉症 教育」の人材育成事業『感覚と運動 の高次化理論—知的障害・自閉症が ある子どもの輝かせ方—』	オンライン	主任3 支援員2
10/25	障害者虐待防止法研修～気付きの視 点を学び、共有できる職場を目指し て～	オンライン	主任1
11/10～19	第2回東京都サービス管理責任者基 礎研修及び児童発達支援管理責任者 基礎研修	オンライン	主任1、支援 員1
12/8・9	第2回東京都サービス管理責任者基 礎研修及び児童発達支援管理責任者 基礎研修	オンライン	支援員1
12/13・14	第2回東京都サービス管理責任者基 礎研修及び児童発達支援管理責任者 基礎研修	オンライン	主任1
12/18	東社協知的部会・都通研令和3年度 第2回合同学習会 「医療的ケア児 に対する支援の充実」	オンライン	看護師1
2/7	特定給食施設講習会	オンライン	栄養士
2/8	精神科医からあらためて学ぶ疾病と 障害の基礎知識 第1回 精神障害 の基礎知識	澁谷ソラスト 4A	相談員1
2/14～ 2/18	令和3年度東京都相談支援従事者専 門コース別研修<意思決定支援>	オンライン	相談員1
2/21	精神科医からあらためて学ぶ疾病と 障害の基礎知識 第2回 発達障害 の基礎知識	澁谷ソラスト 4A	相談員1 1
通年	幼児教育者向け WEB セミナー	オンライン	常勤職員、一部 非常勤職員

5. 実習生の受け入れ

①実習生

昨年度に引き続き、コロナ禍により感染防止対策に注意し、人数を限定して受け入れた。

目的・内容	学校名	人数	実習場所	期間
保育士資格 実習	東洋英和女学院大学	3名	単独通所	5/23～6/7
	洗足こども短期大学	1名		6/21～7/2
	大妻女子大学	1名		7/26～8/17

	東京都市大学	1名		8/2～8/31
	鎌倉女子大学	1名		9/2～9/17
	東京福祉大学（通信）	1名		9/21～10/7
	東京未来大学	1名		10/14～10/29
	白梅学園大学	1名		11/5～11/21
	日本女子体育大学	1名		11/5～11/21
	相模女子大学	1名		11/24～12/8
	白梅学園大学	1名		12/9～12/24
	目白大学	1名		2/7～2/24
	武蔵野大学	1名		3/1～3/16
作業療法士 実習 （半日見学 実習）	東京工科大学作業療法学科1年生	各6名 ×6回	単独通所	5/21, 5/28, 6/4, 6/11, 6/18, 6/25
	東京工科大学作業療法学科2年生	各8～ 9名× 4回		8/16, 8/17, 8/19, 8/20
保健師実習	東京工科大学看護学科	各2名	単独通所、親 子通所、外来 訓練、相談支 援事業	7/7～7/9 7/14～7/16
10年目研修	世田谷赤堤小学校教諭	1名	8/18, 8/20	

6. 福利厚生

①定期健康診断(若年層健診)

- ・対象 …全常勤職員、非常勤職員一部（健康保険対象者） → 26名実施
- ・実施日 …6月末～10月末
- ・場所 …牧田総合病院健診センター、新宿区フィオーレ健診クリニック
- ・健診項目 …問診、診察、視力、聴力、血圧測定、胸部レントゲン、検尿、心電図、血液検査（貧血、肝機能測定、腎機能測定、脂質測定、血糖検査）、子宮頸癌（希望者のみ）

②生活習慣病健診

- ・対象 …35歳以上の職員 → 27名実施
- ・実施日 …6月末～10月末
- ・場所…牧田総合病院健診センター、新宿区フィオーレ健診クリニック
- ・健診項目 …問診、診察、視力、聴力、血圧測定、心電図、検便、検尿、血液検査（貧血、脂質、肝機能、腎機能、血糖）胃部レントゲン、胸部レントゲン、身体検査（腹囲、BMI含む）、乳癌、子宮頸がん（希望者のみ）、腹部超音波、眼底検査（40歳、50歳時）

③便の細菌検査

- ・対象 …全職員、一部非常勤（単独通所保育補助員）年2回 →52名実施
厨房職員：毎月1回

④ストレスチェック

- ・対象 …全常勤職員、非常勤職員一部（健康保険対象者） → 52名実施

7. その他（建物改修、設備・備品等購入等）

- ①本年度計画された大きな工事として、一昨年度の台風により倒壊した「屋上の日よけ用の

支柱の設置」と、合わせて「屋上床面の張替え工事」が実施された。

②予定外の大きな緊急工事として、「上下水管の破損による水漏れの修繕工事」、「地下水道管破損による漏水の修繕工事」が行われた。

③施設の経年劣化による建物、設備等の不具合について、随時区に報告し修繕を依頼した。主に、以下の修繕、工事が実施された。

- ・ スプリンクラー呼水槽底部の漏水
- ・ (本館、はすぬま分室) 窓ガラスのひび割れ
- ・ 事務室非常放送設備マイクの不具合、
- ・ (本館) 網戸の設置、修理
- ・ (本館) 2階ホールのトイレ、床排水の詰まり
- ・ (分館) 蛇口の水漏れ
- ・ (本館) 電話にナンバーディスプレイ機能の追加

別 紙(事業計画書関係)

わかばの家 年間行事実施表 (2021年度)

項目	行 事		職員研修・職員会議等		災 害 訓 練		健康管理・衛生管理		そ の 他			
	単独通所・親子通所		【ア】…アフターケア事業 【地】…地域支援事業	【法】…法人主催研修				*…単独通所・親子通所定期 健診		【法】…法人行事への参加		
月日	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容	日	内 容
4月	1. 2	【単】新入園児契約会			1,	・全体職員会議(毎月第4	19	防災訓練(毎月		職員細菌検査(年2回)	1	【法】辞令交付式
	5・6	【親】契約会・ オリエンテーション			木)		1回)	22	衛生委員会(毎月1回)	15	就学相談説明会	
	8	【単】入園式			19	業務改善会議				16		
					22	・主任会(月1回) ・各事業職員会議 【法】新人職員研修 ※内部研修・外部研修必 要に応じて随時				19		
5月					7	わかば運営会	28	防災訓練		*内科健診(年5回職	13	【法】情報連絡会
					27	全体職員会議				職員定期健診	19	【法】経営会議
						主任会			27	衛生委員会	21	区との定例会
					31	職員研修会					28	幼児教育センター との連絡会

6月			26	【ア】グループ(年9回)	2 14 24	わかば運営会 業務改善会議 全体職員会議 主任会	25	防災訓練	24	*眼科健診(年2回) 衛生委員会	10 16 29	【法】情報連絡会 【法】経営会議 保育サービス課との連絡会
7月	7 5, 6	【単】七夕 【親】七夕	31	【ア】グループ	2 17 29	わかば運営会 新人職員フォローアップ 研修 全体職員会議	29	防災訓練	29	*耳鼻科健診(年2回) *内科健診 衛生委員会 ストレスチェック	8 16 21	【法】情報連絡会 区との定例会 【法】経営会議
8月	9~13 23~27	自主通所 自主通所			19	全体職員会議 【法】夏季合宿研修	10	防災訓練 起震車体験			5 18 20	【法】情報連絡会 【法】経営会議 区との定例会
9月		【単】バスハイク→中止 【親】日曜参観→中止 【単】「就学体験のお話し会」	11 6 27	【ア】グループ→中止 (分館) ホット講座 (本館) ホット講座	1 29 30	わかば運営会 STによる研修会 全体職員会議	16	防災訓練	7 30	*歯科健診(年1回) *内科健診 衛生委員会	9 15 11 21	【法】情報連絡会 【法】経営会議 区との定例会 サポートセンターと

事業拠点組織図(大田区立こども発達センター (わかばの家))

